

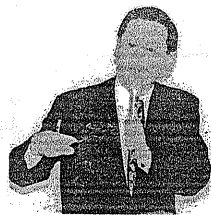
足柄上医師会学術講演会

平成十二年八月二十四日 開成町福祉会館

「糖尿病治療の新しい傾向」

順天堂大学医学部内科代謝内分泌学教授

河盛 隆造先生



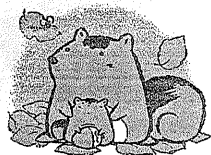
今年のアメリ力糖尿病学会に出席したら、ミス・アメリカと知り合いになれた。この人は患者でインスリンの持続注入器をつけている。糖尿病になつたので、スリムになつてミス・アメリカになれたといつていた。

糖尿病は放置病

早期発見はするが、食事、運動の指示だけで放置されるので悪化する。早いうちから血糖の管理が大切だ。

糖尿病のはしまり

日本人の糖尿病患者は、食事後、膵臓からインスリンが出てくるのが遅れるタイプが多い。インスリンの出かたが遅れてもインスリンの効きかたが良いうちはどうにか発病しないでいるが、肥満、運動不足、ストレス、感染などでインスリンの効きかたが悪くなると発症するものが



多い。

体内での「糖の流れ」を良く考える。

食物摂取↓糖の吸収↓血糖上昇
↓インスリン分泌↓肝の糖とりこみ
↓筋、脂肪組織の糖とりこみ↓肝よりの糖放出 糖の流れを考えながら糖尿病を考えてゆこう。

糖尿病の治療

食後の血糖の急上昇とインスリンの効きかたが悪くなるのが糖尿病を悪化させるので、早期から、食事療法、運動療法に加えて薬物療法を行うてゆきたい。

糖尿病のみぐすり

食物の中の糖分の吸収を遅らせる薬や速攻性のインスリンの分泌を増やす薬などを早期の糖尿病の人に使う。

また肥っている人、運動不足の人に効きめのある薬、ヤせている人に使う薬など色々あるのでその特長をよく識つて、うまく使い分けると良い治療ができる。

糖尿病の注射

速効性のインスリンを三〜四回注射することが効果的

糖尿病の管理

できるだけ良い血糖値を維持するよう努力する。

血糖を管理するための検査項目としては

グリコヘモグロビン、グリコアルブミン、^{1,5}AGなどがあるが、直前の様子が分かること、変動の中が大きいことでグリコアルブミンを使うのが良い。
血糖その他二週間に一回はチェックしたい。

患者さんからの相談

健康で過ごすことの有難さ

今現在特に心配する病気もなく、毎月の定期検診を受け薬も飲んで安堵の気持です。

大好きな旅行、お金があり予定がなければ又行くの・・・と言われても行きたいところ大きな旅行は年一回だけ、今年は沖縄サミットが計画されていたので、青色申告会の旅行は約一ヶ月早く、感動の大自然、宮古八重山に行くことになりました。旅行につきものは体調です。

グループの人に迷惑をかけてはいけないと結構気をつけていたんですが、主人をおいて旅行に行くので、普

段やりもしない島の草とりをして五月初旬のこと右の横腹。骨まで痛く夜の睡眠まで出来なくなり、その内治るんじゃないかと我慢し、余りの痛さに口にしてしまい、主人は例の大袈裟が始まったと悪言を、旅行も行くな取り止めろ、一時は落ちこんでしまい私が今迄何回となく大手術を経験しているので可哀相に思ってたんでしようか、すぐ医者に行つて来いといひ先生の診察を受け、先生の言葉に診たところなんでもないと

思います、筋肉痛、手術後の癒着が生じる場合がありますよということでした。
半月後に迫つた旅行どうしようと思つていりうち湿布を貼つたりしていたら痛かつた横腹、骨の痛みもだんだん良くなり、心配していた友人も行けるねと励ましてくれました。



沖縄本島は以前行きましたが、離島に行くのは最初の最後と思ひ、疲れもあつたものの、るるん気分が出掛けました。沖縄は梅雨一ヶ月も早く既に私達が出掛ける頃は梅雨の最中でした。

幸い旅行は雨に出会うことがなく、二日間好天に恵まれ気温も二十七度という五月中旬にしては本当に暑い日でした。宮古・石垣島と飛行機の乗り換え島から島への高

速船、バス水牛車と目まぐるしい旅でしたが、見るもの聞くもの感動の連続でした。

若夫婦が古希のお祝いに旅行券を贈ってくれましたが、主人が飛行機が嫌いで筆筒の中に三年もそのまま、私は逆に足腰丈夫なうちに早く利用したいがアルコール好きな仲間でないと思事ありません。

長い浮世に短い命という諺がありますが、明日は我が身、八十才、九十才にして健康で頭のボケもなく自然との生活を送つていられる方が羨ましく、私も後十年が限度と口癖の日々ですが、年を重ねる毎に夫婦が仲良く健康でありたいです。

飯沢 在住 高橋

みなさんの質問や投稿を

お待ちしてまいります。

☆受付けからのお願い

月初めには必ず保険証を

受付けにお出し下さい。

診察券は毎回お持ち下さい。

9月・10月の休診日

(日曜・祭日)

水曜・土曜・第一火曜午後)

10月21日(土)

院長学会出席のため

休診

